

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぼう

平成29年 5月25日
(2017年)
毎月3回5の日に発行

第2013号

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 井原 好英

http://www.si-gichokai.jp

市議会旬報

まち・ひと・しごと創生担当大臣と 地方六団体の意見交換会が開催

第7回まち・ひと・しごと創生担当大臣と地方六団体の意見交換会が5月12日、中央合同庁舎8号館で開かれた。本会からは、岡下勝彦会長(高松市議会議長)が出席し、山本幸三・まち・ひと・しごと創生担当大臣と意見交換を行った。

はじめに、山本大臣から「意見交換会は7回目を迎えた。これまで、地方六団体の意見をまち・ひと・しごと創生総合戦略・基本方針に反映してきた。大臣就任以来、84市町村196カ所を視察し、地方創生の熱心な取り組みを見てきた。国は引き続き、情報支援、人材支援、財政支援の三本の矢で積極的に応援してい



山本大臣



岡下会長

く。29年度は、総合戦略の中間年に当たり、取り組みをさらに深化させる必要がある。地方創生の新展開を考え、現在、基本方針2017の策定作業を行っているところ。策定に向け、六団体の忌憚のない意見を伺いたい」などの挨拶があった。続いて、地方六団体を代表し、山田啓二・全国知事会会長(京都府知事)から「地方創生は、これから第二、第三段階に入っていく。六団体からの意見を積極的に受け止めてもらいたい」などの挨拶があった。

その後、▽まち・ひと・しごと創生基本方針2017(案)▽地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会

議における中間報告(案)について事務局から説明があり、意見交換を行った。意見交換では、岡下会長から、まち・ひと・しごと創生事業費の安定的確保、地方創生推進交付金の継続、総額の確保などについて発言した(左掲)。

なお、意見交換会には、長坂康正・内閣府大臣政務官が出席している。
※岡下会長発言内容
高松市の事例を交えながら意見を述べる。
高松市では、地方創生加速化交付金を活用し、丸亀町商店街でコミュニティ・レストラン&健康広場事業や、まちなかアートで奏でる地方創生推進事業を実施している。また、廃校した小学校施設を活用し、職人育成塾等の事業を行うなど、地方創生の取り組みを展開している。
地方大学の振興については、香川大学が地元自治体と連携し、文部科学省の地(知)の拠点整備事業として、フイー



意見交換会の模様

意見書・決議を取りまとめ

2・3面

無料公衆無線LAN環境の整備促進が最多
このほど、2月から4月に全国の市議会において可決した意見書・決議のうち、本会に報告のあった件数を取りまとめた。集計では「無料公衆無線LAN(Wi-Fi環境の整備促進)が最多。次いで「指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入」だった。2・3面で、件数の多い意見書・決議を紹介する。【2・3面に記事】

意見書・決議の状況

29年 2月～4月 可決分

このほど、本紙では、2月から4月に全国の市議会において可決した意見書・決議のうち、本会に報告のあった件数を取りまとめた。件数の多

い順に意見書・決議の内容を紹介する。

無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進

意見書・決議で最も多かったものが「無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進」で100件だった。

ほとんど全ての意見書が、前文で「2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備



2月から4月に可決した意見書・決議の議決状況

件名	意見書	決議
○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進	100	—
○指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入	59	—
○地方議会議員の厚生年金への加入	31	—
○海洋ごみの処理推進	31	—
○「民泊」の法制化について ・地域の実情に応じて運用できる「民泊」の法制化	22 (17)	— —
○国民健康保険制度について(国庫負担減額調整措置の廃止ほか)	21	—
○北朝鮮によるミサイル発射	7	14
○精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引の適用	18	—
○水素ステーションの整備促進	14	—
○安全・安心の医療・介護の実現について ・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善	13 (12)	— —
○給付型奨学金について(制度の創設、拡充など)	13	—
○「共謀罪」について(法案の提出断念、撤回、慎重な対応など)	11	—
【小計】	340	14
○その他	273	31
【総合計】	613	45

※件名は代表的なもので、同内容のものも含めている
※意見書・決議の件数が多い順に掲載

※「本会に報告のあった件数」とは、各市区議会から本会ホームページのメンバーのページのオンライン調査・回答システムに入力されたもののほか、郵便、メール、ファクスで受け付けたもの。なお入力方法などの問い合わせについては、本会調査広報部(☎03-3262-5237)まで。

「指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入」は59件だった。

ほとんど全ての意見書が、通信手段の確保にも大きく貢献する」としている。その上で、①「鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に對

するWi-Fi整備支援事業を一層拡充すること」②「日本遺産・国立公園等の観光拠点や観光案内所におけるWi-Fi環境の整備を一層促進

し、観光地の機能向上や利便性向上を図ること」③「防

備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること」の3項目を求めている。

指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入

「指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入」は59件だった。

ほとんど全ての意見書が、①「指定給水装置工事事業者制度を(建設業と同様に)更新制とすること」②「水道が生

活密着型インフラであることに鑑み、地域活性化に資するため、配管技能者の適正配置の確認、管路の更新・耐震化等を通じて安全な水の供給を将来にわたって確保すること」の2つを求めた。

地方議会議員の厚生年金への加入

「地方議会議員の厚生年金への加入」は31件。

「国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現」するよう求めた。

28年中の意見書283件(本紙2001号2面、2005号7面に記事を掲載)と

海洋ごみの処理推進

合わせて、314件となった。「海洋ごみの処理推進」は31件だった。

ほとんど全ての意見書が、①「海洋ごみの主要な発生源となっている河川については、国管理河川以外の河川管理者の厳しい財政状況を考慮して

国による新たな発生源対策を進めること」②「地域グリーンニューデール基金のような市町村が機動的に活用できる海洋ごみ対策を進めること」③「海洋プラスチックごみについては、国際社会と連携してその発生抑制及び削減に努めるとともに、マイクロプラスチックを含む海洋ごみの量・分布等の実態を把握するための調査をさらに推進し、国民生活への影響を回避するための研究を進めること」の3項目を求めた。

「民泊」の法制化について

「民泊」の法制化については22件。うち、「地域の実情に応じて運用できる「民泊」の法制化」は17件だった。

ほとんど全ての意見書が、

【3面へ続く】

【2面から続く】

①「国の法令に基づき、地域住民と旅行者が安全に安心して『民泊』制度を運用することが可能となるよう、国が責任を持って必要な基準を定めること」②『民泊』の運営に関する実態の監視やさまざまなトラブルに迅速かつ適切に対処する体制を国の責任において整備すること」③「地域の实情に応じて適切な『民泊』の運営がなされるように、自治体が条例の制定等により地域独自のルール等の構築が可能となるようにすること」

の3項目を求めた。住宅宿泊事業者（民泊サービス）の都道府県知事への届出、地域の实情を反映する仕組みなど事業者・管理者・仲介業者に係る制度の創設により、業務の適正な運営を確保するため、「住宅宿泊事業法案」が3月10日に、第193回通常国会に提出され、衆議院で審議されている（5月17日現在）。

国民健康保険制度について

「国民健康保険制度について」は21件。

30年度から未就学児までを

対象に減額調整措置を行わないとした厚生労働省の方針に触れ、就学児についても廃止を求める意見書が中心であった。

ほかには、財政基盤の強化、高額療養費制度の継続、子どもに係る均等割保険料（税）の軽減措置などを求める意見書があった。

北朝鮮によるミサイル発射

「北朝鮮によるミサイル発射」は21件だった。このうち意見書が7件、決議が14件だった。

意見書では、北朝鮮に対する毅然とした対応、核・ミサイル問題の早急な解決などを求めた。

決議では、北朝鮮のミサイル発射について、非難、抗議を表明している。特に、非難・抗議には「厳重に」「断固」などの表現が使われている。また、核及び弾道ミサイル計画の放棄や、さらなる挑発行動を行わないことを求めている。

ほかには、意見書・決議ともに、制裁措置や、北朝鮮に対して国連安全保障理事会決議の遵守を求めるものもあった。

精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引の適用

「精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引の適用」については18件。

「公共交通機関の運賃割引制度について、交通事業者に対して、精神に障害のある人も身体に障害のある人及び知的障害のある人と同様に適用対象とすることを働きかける」ことなどを求めている。

水素ステーションの整備促進

「水素ステーションの整備促進」は14件だった。

①「水素ステーションのセーフ充填のハード・ソフトの基準整備を行うこと」②「海外での使用実績を考慮して水素ステーション用蓄圧器の使用可能鋼材を拡大すること」の2項目を求めた。

安全・安心の医療・介護の実現について

「安全・安心の医療・介護の実現について」は13件。うち「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善」は12件だった。①「医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替

制労働における労働環境を改善すること（①1日8時間以内を基本に、労働時間の上限規制や勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設けること）②夜勤交替制労働者の労働時間を短縮すること

③介護施設などにおける1人夜勤を早期に解消すること」④「安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること」の2項目を求めている。

給付型奨学金について

「給付型奨学金について」は13件だった。

30年度からの本格的実施に向け、29年度は、先行して、特に経済的に厳しい私立の自宅外から通学する学生や、児童養護施設退所者などの社会的養護が必要な学生等に奨学金が支給される。

給付型奨学金の創設や拡充を求めた。あわせて、▽教育予算の大幅な拡充▽無利子奨学金の拡充▽高校無償化の所得制限の撤廃▽高校奨学金給付金の拡充なども求めるものもあった。

給付型奨学金を創設するための「独立行政法人日本学生支援機構法の一部を改正する法律」が3月31日に成立し、4月1日に施行している。

新庁舎落成

▽習志野市（千葉県）〒275-8601 千葉県習志野市鷺沼2-1-1 電話、FAX番号は変更なし

議事人事

※年の表記がないものは29年

- ▽議長
- ▽五島 谷川 等(2・27)
- ▽北茨城 鈴木啓一(4・6)
- ▽廿日市 仁井田和之(4・6)
- ▽香芝 小西高吉(4・13)
- ▽東金 清宮利男(4・14)
- ▽伊賀 空森栄幸(4・14)
- ▽赤穂 有田光一(4・18)
- ▽諫早 松本正則(4・20)
- ▽伊達(北海道) 寺島 徹(4・21)
- ▽狭山 齋藤 誠(4・21)
- ▽伊豆の国 天野佐代里(4・25)
- ▽静岡 井上恒彌(4・26)
- ▽出雲 福代秀洋(4・27)
- ▽潟上 藤原幸雄(4・28)
- ▽富山 村上和久(4・28)
- ▽館林 河野哲雄(4・28)
- ▽下呂 伊藤巖悟(4・28)
- ▽近江八幡 田中 好(4・28)
- ▽真庭 長尾 修(4・28)
- ▽東松島 阿部勝徳(5・1)
- ▽三原 仁ノ岡範之(5・1)
- ▽伊予 若松孝行(5・1)
- ▽朝倉 中島秀樹(5・1)
- ▽豊後大野 佐藤辰己(5・1)
- ▽栗原 瀬戸健治郎(5・2)
- ▽大町 勝野富男(5・8)
- ▽多摩 岩永ひさか(5・8)
- ▽清須 八木勝之(5・8)
- ▽桜井 札辻輝己(5・8)

【4面へ続く】

▽登別	成田昭浩(5・9)	▽藤枝	西原明美(5・11)	▽多摩	三階道雄(5・8)	▽上天草	田中辰夫(5・10)	▽磐田	松野正比呂(5・15)
▽飯田	清水 勇(5・9)	▽豊川	山本和美(5・11)	▽清須	浅井泰三(5・8)	▽杵築	小野義美(5・10)	▽豊橋	前田浩伸(5・15)
▽諏訪	金子喜彦(5・9)	▽春日井	長谷川則夫(5・11)	▽北茨城	相良尚彦(2・27)	▽小林	森田哲朗(5・10)	▽豊明	
▽岩倉	黒川 武(5・9)	▽津島	垣見信夫(5・11)	▽廿日市	堀田憲幸(4・6)	▽八戸	冷水 保(5・11)	▽あま	ふじえ真理子(5・15)
▽美濃	山口育男(5・9)	▽安城	石川孝文(5・11)	▽香芝	福岡憲宏(4・13)	▽福生	町田成司(5・11)	▽鳥羽	木下順一(5・15)
▽東かがわ	山口育男(5・9)	▽常滑	川原和敏(5・11)	▽伊賀	嶋岡壯吉(4・14)	▽飯田	浜元輝喜(5・11)	▽池田	白石啓子(5・15)
▽嘉麻	井上弘志(5・9)	▽犬山	ピアソニック(5・11)	▽赤穂	山田昌弘(4・18)	▽沼田	坂庭直治(5・9)	▽京田辺	米澤修司(5・15)
▽大野城	山倉敏明(5・9)	▽大垣	岩井哲二(5・11)	▽天理	市本貴志(4・20)	▽岩倉	梅村 均(5・9)	▽大津	八田憲児(5・15)
▽延岡	白石重成(5・9)	▽高山	藤江久子(5・11)	▽諫早	西口雪夫(4・20)	▽関	幅 永典(5・9)	▽明石	尾倉あき子(5・15)
▽串間	山口直嗣(5・9)	▽那須塩原	君島一郎(5・12)	▽伊達(北海道)	国本一夫(4・21)	▽美濃	古田秀文(5・9)	▽桐生	福島賢一(5・11)
▽垂水	池山節夫(5・9)	▽狭山	太田博希(4・21)	▽赤磐	佐々木雄司(4・24)	▽東かがわ	鏡原慎一郎(5・9)	▽春日井	熊野義樹(5・11)
▽小千谷	田中 淳(5・10)	▽伊豆の国	古屋鋭治(4・25)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽嘉麻	廣方 悟(5・9)	▽津島	宇藤久子(5・11)
▽かほく	坂井正嗣(5・10)	▽静岡	牧田博之(4・26)	▽延岡	高山やす子(5・9)	▽大野城	鏡原慎一郎(5・9)	▽安城	二村 守(5・11)
▽駒ヶ根	加治木今(5・10)	▽生駒	福中真美(4・26)	▽串間	福留成人(5・9)	▽大垣	横山幸司(5・11)	▽福山	池上文夫(5・15)
▽三鷹	宍戸治重(5・10)	▽出雲	川上幸博(4・27)	▽大野城	川越信男(5・9)	▽常滑	杉江繁樹(5・11)	▽阿久根	野畑 直(5・15)
▽青梅	小山 進(5・10)	▽富山	遠藤重吉(4・28)	▽那須塩原	山本はるひ(5・12)	▽安城	二村 守(5・11)	▽魚津	金川敏子(5・16)
▽国分寺	木村 徳(5・10)	▽館林	各務吉則(4・28)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽福井	小川俊幸(4・1)
▽横須賀	木下憲司(5・10)	▽下呂	近江八幡	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大町	塚田 茂(4・1)
▽熊野	下田克彦(5・10)	▽三鷹	寺井 均(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽安曇野	望月利彦(4・1)
▽多治見	加納洋一(5・10)	▽青梅	野島資雄(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽那須塩原	石塚昌章(4・1)
▽福知山	大谷洋介(5・10)	▽国分寺	田中政義(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽高崎	小林 茂(4・1)
▽大和高田	中谷修一(5・10)	▽熊野	久保 智(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽熊野	山口耕作(4・1)
▽上天草	園田一博(5・10)	▽多治見	柴田雅也(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽豊川	田中邦宏(4・1)
▽杵築	中山昭徳(5・10)	▽福知山	芦田眞弘(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽福知山	池田 聡(4・1)
▽小林	杉元豊人(5・10)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽三木	清水悟史(4・1)
▽八戸	立花敬之(5・11)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽対馬	糸瀬美也(4・1)
▽福生	杉山行男(5・11)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽臼杵	東 弘樹(4・1)
▽藤沢	松下賢一郎(5・11)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽小林	鶴野光博(4・1)
▽綾瀬	武藤俊宏(5・11)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽田村	助川庄藏(5・1)
▽佐野	井川克彦(5・11)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽氷見	坂本博之(5・1)
		▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽大野城	廣方 悟(5・9)	▽小平	平尾達朗(5・1)

【3面から続く】

▽つくば

▽多摩

▽上天草

▽磐田

▼事務局長